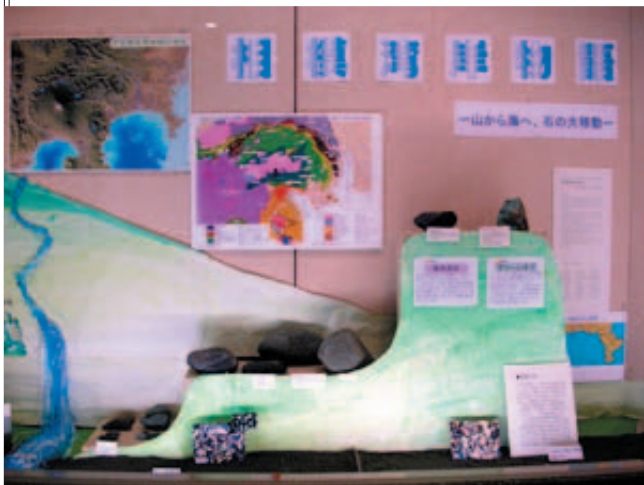


寄贈品コーナー 「博物館実習生制作展示」

相模湾岸物語

～山から海へ・石の大移動～

今年の博物館学芸員実習では、地質分野の展示を制作しました。この展示では、コの字型の展示ケースを相模湾に見立て、床には相模湾にある14カ所の海岸で実習生が実際に採取してきた海浜砂が敷き詰められています。その砂の色を見比べてみてください。さらに、壁面には後背の山々をダイナミックに表現し、主な水系の岩石を上流・中流・下流と階段状に展示して、石の変形がわかるようになっていきます。



海浜砂は、上流の岩石にとっては長い旅の一時の到着点に過ぎず、砂は沿岸流によって別の岸や沖に移動していきます。沿岸の環境とは、各水系で独立して成り立っているのではなく、沿岸流といった地球の大きなサイクルによってつくられ、相模湾の海浜も日々変化を繰り返しています。海浜の砂は、山の石と海岸流によって変わってきます。山と川と海のつながりを知ってもらおうと、沿岸部分は砂の色に注目して展示を作りました。

(首都大学東京大学院 坂根真理子)